



郡山市×横浜市立大学連携事業
久米正雄撮影フィルム修復事業成果報告会を
開催します



ターゲット 4.7

2025年10月3日
文化スポーツ観光部
文化振興課
課長 橋本 徹
TEL：924-2668

SDGs ターゲット 4.7 「全ての学習者が、必要な知識及び技能を習得できるようにする」

郡山市と横浜市立大学は、令和2（2020）年度に締結した「こおりやま文学の森資料館所蔵フィルム修復に係る協定」に基づき、郡山ゆかりの作家「久米正雄」が撮影した芥川龍之介らを含む大正の文豪を映した映像フィルムの修復を実施してきました。

令和7（2025）年度で修復作業が完了したので、市民向けに事業の報告会を開催します。

- 1 日時 10月11日（土） 13：30 開演／（13：00 入場開始）
- 2 会場 郡山市役所本庁舎2階 特別会議室
- 3 入場料 無料（申込不要）
- 4 プログラム

（1）事業報告（郡山市文化振興課、横浜市立大学 庄司教授）

（2）基調講演（日本大学 山岸教授）

テーマ：「フィルムの中の作家たち—修復されたフィルムからわかること」

（3）パネルディスカッション（庄司教授、山岸教授、慶應義塾志木高等学校 小澤先生）

- 5 登壇者（敬称略）



しょうじ たつや
庄司 達也

横浜市立大学国際教養学部教授。

芥川龍之介を中心に日本近代文学、文化の領域について研究、出版メディアと作家、読者の関係にも関心を持つ。また、作家が聴いた音楽を蓄音機とSPレコードで再現するコンサートを企画・開催するなど、同時代芸術との関係にも注目している。



やまぎし いくこ
山岸 郁子

日本大学経済学部教授。

北海道出身。日本近代文学、久米正雄を中心とする第四次『新思潮』の同人と文壇状況についての研究を行なっている。今回企画の関連論文として、「文壇」の力学についての一考察（『語文』）、「文学館、文豪、そして本当の資源とは」（『早稲田文学』）、「『文豪』イメージを消費するということ」（『横光利一研究』）、「フィルムの中の作家たち」（『文学』岩波書店）がある。



おざわ じゅん
小澤 純

慶應義塾志木高等学校教諭

愛媛県出身。日本近代文学、特に芥川龍之介とその周辺、太宰治とその周辺を研究。「菊池寛〈啓吉もの〉と芥川龍之介〈保吉もの〉の間——新思潮派という〈物語〉に棲むキャラクター達」(『「私』から考える文学史』)、「第四次『新思潮』の〈物語〉をリロードする——久米正雄『風と月と』と週刊誌メディア」(『戦前期週刊誌の文学と視覚表象』)など。

100年前の貴重映像！

久米正雄が捉えた文豪たちの知られざる素顔

入場無料
申込不要



久米正雄が撮影した芥川龍之介や菊池寛ら大正時代の文豪を映したフィルム—
横浜市立大学と郡山市が協力して7年に渡り修復してきたフィルム映像を初公開します。

10月11日（土） 13:30～（開場 13:00）

郡山市役所本庁舎 2階 特別会議室

成果報告 郡山市文化振興課／横浜市立大学 庄司 達也氏

基調講演 日本大学 山岸 郁子氏
フィルムの中の作家たち—
修復されたフィルムからわかること

パネルディスカッション



しょうじ たつや
庄司 達也

横浜市立大学国際教養学部教授。
専門は日本近代文学。
大正期に活躍した芥川龍之介を中心、日本近代文学、文化の領域について研究している。近年は、作家が聴いた音楽を蓄音機とSPレコードで再現するコンサートを企画・開催するなど、同時代芸術との関係に注目した研究を多面的に展開している。



やまきし いくこ
山岸 郁子

日本大学経済学部教授。
北海道出身。日本近代文学、久米正雄を中心とする第四次『新思潮』の同人と文壇状況についての研究を行っている。
今回企画の関連論文に、「『文壇』の力学についての一考察（『語文』）」、「文学館、文豪、そして本場の資源とは（『早稲田文学』）」などがある。



おざわ じゅん
小澤 純

慶應義塾志木高等学校教諭
愛媛県出身。日本近代文学、特に芥川龍之介とその周辺、太宰治とその周辺を研究している。「菊池寛〈啓吉もの〉と芥川龍之介〈保吉もの〉の間—新思潮派という〈物語〉に棲むキャラクター達」（『私』から考える文学史）、「第四次『新思潮』の〈物語〉をリロードする—久米正雄『風と月』と週刊誌メディア」（『戦前期週刊誌の文学と視覚表象』）など。

主催：郡山市 共催：公立大学法人横浜市立大学 協力：株式会社ヨコシネディーアイエー

お問い合わせ 郡山市文化振興課 (☎ 024-924-2661) 〒963-8601 福島県郡山市朝日一丁目23番7号 本庁舎5階